

応募内容(競技部門用)

No.1	タイトル	ディクショナリ～ シ
No.2	1) 予定開発期間： 5 / 1 ~ 10 / 10 2) 予定開発人員： 5人	
No.3	<p>実現方法</p> <p>文章からボール列への変換方法、ボール列の通信方法、ボール列から文章への復元方法、に分けて説明します。</p> <p style="padding-left: 40px;">文章からボール列への変換方法</p> <p>あらかじめオリジナル辞書を作成・準備しておきます。オリジナル辞書には、新聞記事1年分を統計処理した結果が採用されており、よく現れる文字列ほど短いボール列に変換されるように工夫されています。文章が入力されると、オリジナル辞書を参照して、先頭の文字列からボール列へ変換していきます。それらのボール列を連結したものを文章のボール列とします。</p> <p style="padding-left: 40px;">ボール列の通信方法</p> <p>文章のボール列を固定長のボール列(パケット)に切り分け、一パケットごとに区切りのボール列を入れ、送信します。受信側は、区切りのボール列を2回受け取るとその間のボール数を確認し、一パケット分のボール数と一致すれば受信成功となります。一パケット分のボール数より少ない場合または多い場合、ボールの消滅があると見なし、該当するパケットの再送要求を返信します。送信側は再送要求を受け取ると、再送する旨を示すボール列をはじめに送信し、該当するパケットを再び送信します。このようにして、受信側で到着したパケットを連結して、文章のボール列を得ます。</p> <p style="padding-left: 40px;">ボール列から文章への復元方法</p> <p>受信側のコンピュータにも送信側と同じオリジナル辞書を持たせておき、送信側と逆の手順でボール列を文字列に変換し、それらを連結して文章を復元します。</p>	
No.4	<p>使用ソフト</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Microsoft Visual C++ 6.0 Professional ● 日本語形態素解析システム「茶釜」 version 2.1 for Windows (オリジナル辞書作成時) 	
全国高等専門学校 第13回プログラミングコンテスト：石川		